

中学生が中部大学を見学しました

大治中学校の1年生約320名が、10月23日(水)に中部大学を見学しました。

本町と中部大学は、まちづくり、学校教育、生涯学習、文化振興、スポーツ振興、地域防災等、幅広い分野において連携する協定を結んでおり、今回はキャリア教育の一環として見学会を実施しました。

当日は、山本 尚^{やまもと ひさし} 卓越教授による「創造することの面白さ」と題した講演を聴講しました。かつて固定電話が普及していた中、携帯電話が開発されて世に広がったように、“新しい価値基準とともに新しい技術を生み出す”科学技術者の視点について、生徒たちはメモを取りながら一生懸命に耳を傾けていました。講演の最後には、生徒からの「考え続けられる秘訣は何ですか。」との質問に対して、教授からは「自然体でいること。」と答えをいただいていた。

講演後はグループごとに各学部の施設を見学し、大学がある春日井市の特産品であるサボテンを試食させてもらうなど、生徒たちは貴重な体験に目を輝かせ、大学の魅力を体感している様子でした。



この経験を糧に、生徒たちが学校生活をさらにいきいきと実りあるものとしてくれることを願っています。

町としても、こうした活動を通じて、子どもたちが自ら学びの面白さに気づき、未来への展望を描いていけるようサポートしていきます。

問合せ先 学校教育課 内線 207



寄付をいただきました

明治安田生命保険相互会社から健康増進支援を目的に寄付金50万5100円をいただきました。

ここに厚くお礼申し上げます。

町の健康増進事業に有効に活用します。